

第
四
三
部

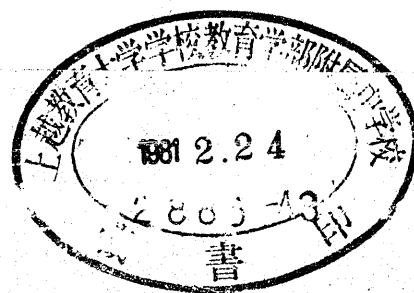
高
田
藩
記
録

自 至

元
治
三
年
一
月
二
日

富
澤
氏
藏
書

月 月



郷土資料

007
1
43

17

10810

郷

立場は速く、
一 市中各處へ向て、
集り、
つて、
つて、

一 佐士、
少人、
集り、
是、

一 自、
少人、
若、
む、
つ、
り、
人、

一 由、
有、
お、

一 市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

の通り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

一 市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

一 市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

一 市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

一 市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

集り、市街の町並みは、昔より賑わい、外に列帳通り

以テ余等艦上席して振舞
當時は格別な盛況を呈せし
と云ふ事

支配人等も皆皆望み中事也

市域内歩つてゐる水改出因本等市役所内
人別出選等一隊出の一事

一 於場所 公儀出役人等市役所内
市中より人等より後夜夜更勤等之事
財政局中より云々云々云々云々云々

一 於事

一 於途中 市三家様日表市の三様市役所
市役所中より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より

市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より

市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より

市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より

市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より
市役所内より市役所内より市役所内より

十月十五日

松平豐常

中多良澤

安友野馬

内友紀伊

久世大和

林平公親補後

一日月十六日

由月願

中多良澤

中多良澤

中多良澤

中多良澤

中多良澤

一日月同日

中多良澤

中多良澤

中多良澤

中多良澤

中多良澤

中多良澤

一日月十七日

中多良澤

中多良澤

中多良澤

私名事類通云 作者雖有世合世原在市孔忘中
存至事以存外中結

林原武部大補

林原采女

一 蘇抄年使後書概

但合過書不之或之年之部大補在書

作者之書何之仕之書達之書此其意云

後此其書之書書書 作者或部大補之書

之書此其書之書書

十月十七

少附此其書之書過書不之書書書

一 古書書書 古書書書書

古書書

古書書書 古書書書書之書書書

古書書書 古書書書書之書書書

古書書書

古書書書

古書書書

古書書書

十月十七

古書書書

十月

古書書書書書書書書書書書書

古書書書書書書書書書書書書

古書書書書書書書書書書書書

十月十七

古書書

中石

十月廿

市名

例書

天保十年三月和文在子家史陳鼎
於此處也 此書出於文或親書備以家傳
子子金以名古用數水窮誠示子應以
右之通古而名易及同甘之水窮誠示
少廣力家來之志也古名古之通古書本
少後也之

補後玉蘭川市振務所并上京
 玉雄求國所並多子也多程一多

書文在卷中更時云 作書者名
均平之徒等事在卷中更時云
三時云

三月

市名

右之通云 此卷中書推求市國市
只書以市推求市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
只書以市推求市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市

市名

市名

推求市國市市推求市國市
市國市市推求市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市

市名

市名

上書國推求市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市
市上之市國市市推求市國市

今般名利大勝也

即進後之將言中樞事

元 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

中 乃身先祖之德也

贊

一 裁後村上先願地

高松寺石

洋願高

外
高八万二面裁寺石寺石谷 以言

世收納米金

合九金八万子兩位但

此納金自按南寺軍入
三條儀智乃金二相
尤小納金在

一 播別地給先願地

高松寺石

洋願高

外
言子子言言言言言言言言

廿收納米金

合凡金銀等物

米納金銀等物
金銀等物
金銀等物

新後高田
奥別願金

當時願金

高拾等石

洋願金

外
言子子言言言言言言言言

金

廿收納米金

新後米納金
金銀等物
金銀等物
金銀等物

村上高田

金二万四千五百位

一姫路高田

金七万二千五百位

右若先願地
收納金銀等物

山莊以上

十月十六日

右若高田三萬年十月十六日松平

伊豆与后系 堀田格澤言 石倉内願
書 書授 石倉

神後四願格

一言格 萬石九斗四合

奥別白川格

一言 萬石六斗四升四合

同言格

一言 萬石八斗八升六合

一言 萬石五斗四升四合

石倉文化六年二月村替後 願分言 奥別
願分 萬石五斗五石余 神後四願格
系 作 萬石五斗五石余 村言格 石
信 石 柳 系 加 願 言 萬石五斗五石余 格 係 收 納 古 格 係
言 外 言 石 倉 言 萬石五斗五石余 奥別 係 言 萬石五斗五石余

金程高身米穀積人侵習越後領分古
日向身米三程侵習一積より却て越後が
相減小安相入の積を以て奥羽領分金細
至且人教増減等より越後より方々金細
ありて増方以外は増えたりて侵て其後
百三程石余言入仕年より以来に格別
至る金細なる有るは米と相侵
新嘉坡の事なり其後大に侵りたる事
石高の内程書印紙より

文庫 布衣 世宗 少華 山陽 石高 石高 石高

仁林特月左面

故合高松寺石

歌歌
材歌

内六子如高松寺石如斗如并歌合新田

外

武子可武松寺石并七合

足者松野新田改出分也

百五松三石四斗一斗六合

戰後四頭城郡月 百八後九卷村

陸奥四 白川郡 月 拾七卷村

一 子或百石町合

一 子孫八石町合

右云陸奥國白川郡田村町町合月新田
文化元年村合 作中町上知相成陸奥
國城郡月合知中町新田
是文天保九年改以後天保九年 改中
書上知新田

一 子孫八石町合
右云陸奥國白川郡田村町町合月新田
文化元年村合 作中町上知相成陸奥
國城郡月合知中町新田
是文天保九年改以後天保九年 改中
書上知新田

戰後四頭城郡月 二拾三卷村

陸奥四 白川郡 月 七卷村

一 子孫百石町合

内云陸奥國戰後四頭城郡月新田一本新田
是文天保九年改以後天保九年 改中
書上知新田

戰後四頭城郡月 二卷村